

## 第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	外国語教育推進事業			事業番号	09-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部学校教育担当	宮林 英樹	教育指導課	石渡 誠一	

## 計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	1	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	9	きめ細やかな教育の推進	
予算事業名	外国語教育推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	昭和63年度	～	終了年度	-
関連法令等	学習指導要領				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画			計画期間	平成22年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	新学習指導要領では、小学校中学年で「外国語活動」が、高学年で「外国語科」が導入されます。小・中・高等学校一貫した学びが重視され、外国語能力の向上を図る目標が設定されるなど、外国語教育の充実が図られます。				
目的 (何をどうしたいのか)	小学校の外国語活動及び中学校の外国語教育の充実のため、ALT(外国語指導助手)の配置を行います。ALTを配置することによって、小中学校における国際理解教育の充実、及び小学校外国語活動と中学校外国語教育における実践的コミュニケーション能力の育成を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市内小中学校児童生徒				
事業内容 (手段、手法など)	・小学校へ配置した英語を母語として話す外国人(外国語指導助手)による指導の時間を増やし、小学校の外国語活動のさらなる充実を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	ALTの配置(小学校)	事業拡大検討	事業拡大検討		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	小学校各学級における年間平均ALT配置回数	13回/年	17回/年	20回/年	


 事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	事業拡大の検討にあたる平成29年度は、小中学校の担当教員による協議会等を活用し、より有効な事業実施に向けた検討を行うとともに、今後の事業展開を見据え、事業効果や課題をより的確に把握します。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 株式会社インタラック関東南	
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	
	ALTの配置(小学校)	事業拡大	事業実施	
<b>実施した取組の内容</b>	中学校外国語科の授業及び小学校高学年の外国語活動の時間に、外国語指導助手(ALT)を配置しました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	小学校各学級における年間平均ALT配置回数	13回/年	17回/年	17回/年

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>28年度 実績</b>				<b>29年度 実績</b>			
	<b>事業費合計 (a)</b>		12,780		千円	14,710		千円		
	<b>内訳</b>	<b>国県支出金 ①</b>	0		千円	0		千円		
		<b>地方債 ②</b>	0		千円	0		千円		
		<b>その他特財 ③</b>	0		千円	0		千円		
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	12,780		千円	14,710		千円		
	<b>国県支出金の内容</b>									
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		<b>その他</b>								
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.10	人	865	千円	0.10	人	873	千円
		<b>その他の職員</b>	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.10	人	865	千円	0.10	人	873	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		13,645		千円	15,583		千円		
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	小中学校児童生徒		単位	小中学校児童生徒		単位		
		<b>対象数</b>	7,810	人	7,483		人			
<b>総事業費 / 対象数</b>		1,747	円	2,082		円				

評価 (Check)へ

**評 価 (Check)**

<b>進捗状況</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<b>B</b>	<b>左記判断理由</b>	市内14校の小中学校に、概ね計画どおりALTを配置しました。
<b>実施水準</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input checked="" type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	<b>C</b>	<b>他都市の事業内容等</b>	小学校高学年の外国語活動の時間にALTを配置している、県の平均回数(26.5回程度)を下回っています。
<b>有効性</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<b>A</b>	<b>左記判断理由</b>	小学校段階におけるALTとのコミュニケーションの経験により、中学校進学時に抵抗なく英語を「聞くこと」「話すこと」の学習に取り組むことができています。
<b>効率性</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	<b>A</b>	<b>左記判断理由</b>	プロポーザル方式による委託契約会社の選定及び契約後の委託契約会社や担当教員との協議等により、目的に沿った事業推進が図られています。


 取組の改善 (Action)へ

**取組内容の改善 (Action)**

<b>事業推進上の課題</b>	平成32年度全面実施の新学習指導要領では小学校外国語教育の早期化・教科化に向けた条件整備が必要となっています。特に小学校3、4年生の音声言語を中心とした外国語活動の目標の実現のためには、児童に外国語を使ってコミュニケーションを図る体験をさせることが必要です。また他国の文化についての知識や理解も求められることから、さらにALTを配置していく必要があります。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	新学習指導要領移行期間となる平成30年度から小学校3、4年生に「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動が新たに導入されます。ALTの配置日数を増やすなどの条件整備を行い、外国語教育の早期化・教科化に備えていく必要があります。
<b>所管部長による総評</b>	新学習指導要領の全面実施に備え、小学校3、4年生段階から生きた英語にふれる機会を多く設けることは重要です。ALTの配置日数の拡大等の条件整備を行い、外国語教育の充実を図るためにも、ALTの配置日数の拡大を図る必要があります。